

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成29年2月22日(水曜日)		開 議 午前 10 時 00 分
			閉 議 午前 11 時 34 分
出席委員	奥村、石野、並河、藤本、木曾、明田、西口		
出席理事者	[産業観光部]内田部長 [観光戦略課]松本課長心得 [まちづくり推進部]桂部長、竹村事業担当部長 [都市計画課]関口課長 [都市整備課]笹原課長、山内区画整理担当課長 [政策交通課]伊豆田課長 [土木建築部]柴田部長、中西施設担当部長 [桂川・道路整備課]並河課長 [土木管理課]仲田課長、石田管理係長		
出席事務局	門事務局長、三宅主任		
傍聴者	市民4名	報道関係者1名	議員5名(酒井、竹田、平本、齊藤、小島)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議(奥村委員長あいさつ)

[事務局主任より日程説明]

2 案件

行政報告

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部長あいさつ]

(1) 亀岡駅北地区における都市計画の決定・変更について

[都市計画課長より資料に基づき説明]

10:16

[質疑]

<西口委員>

都市計画公園の設置に係り、当初計画と比べて公園面積の変更はあるか。

<都市計画課長>

当初計画からの変更はない。

<並河委員>

水害に関しては、十分対応できるものと考えているのか。

<奥村委員長>

質疑は議題の範囲内で願いたい。

<明田委員>

都市計画決定の手続きに関して、駅南・駅東地域への説明についてはどのように考

えているのか。

<都市計画課長>

26日には、駅前開発推進協議会を含め、追分町を対象とした説明会を予定しており、そこで対応していきたいと考えている。

<明田委員>

駅東側も含まれているのか。

<都市計画課長>

向嶋団地も追分町自治会の対象エリアとして含まれている。

<木曾委員>

住宅ゾーン・商業ゾーンの形成により、人や車の流れが大きく変わることが見込まれるが、それに対しては本計画で対応できるものと考えているのか。

<都市計画課長>

車の流れに関しては、市全体の道路網計画の中で検討していることであり、当エリアに配置する都市計画道路2路線で対応できるものと考えている。また、人の流れに関しては、スタジアム計画とも整合しながら検討していく必要がある。

<木曾委員>

商業ゾーンの形成に関しては、駅南側の商業地域と整合して共存する必要があるが、南側とも事前に協議した上でこの商業ゾーンを設定したのか。

<まちづくり推進部長>

JR亀岡駅を中心とした駅南側と駅北側の区画整理事業との関連は非常に重要である。駅前開発推進協議会においては、駅南側の活性化、にぎわいづくりをどのように図っていくか協議されており、行政もその中に入り、色々と話を伺っている。駅南側には西友やイオンなどの大規模店舗、マンション等も立地されている中で、大規模な再開発は難しく、コンパクトシティの考えに基づき、方向性を検討されている。そのような中で、駅南・北側と連携してJR亀岡駅を中心としたにぎわいづくりに向けて意見交換のできる場を設けていきたいと考えている。

<木曾委員>

セレマの交差点から亀岡駅前の追分通りの交差点間において、よく交通渋滞が生じているが、都市計画道路の設置により改善される見込みか。

<まちづくり推進部長>

指摘の箇所については、コミュニティバスの運行時間にも影響が出ており、それらの渋滞対策として、新たに駅北余部線を設置することにより、駅南側の交通量に大きな効果が表れるものと期待している。

<木曾委員>

駅北余部線のJRアンダー部の天井までの高さは。

<まちづくり推進部長>

構造上による建築限界に基づき3.8~4.5mの高さを確保する必要がある。具体的な高さは調べた上で、後刻報告したい。(了)

<木曾委員>

アンダー部の冠水対策は。

<都市整備課区画整理担当課長>

ポンプを設置して強制排出する計画としている。

<並河委員>

住宅ゾーンにはどの程度の人口がはり付くと見込んでいるのか。

<都市計画課長>

試算としては、1世帯当たりの平均人数から1250人程度を見込んでいる。

< 藤本委員 >

駅北1号・2号の都市計画公園の設置を中心として、スタジアムに関連したガーデンミュージアム構想を考えているのか。

< 都市計画課長 >

当該公園だけではなく、駅北エリア全体を含めた中での構想であり、特に78mのメイン道路周辺の手立てを考えていく必要はあるが、基本的にガーデンミュージアム構想は、全体を考えていくものである。

< 奥村委員長 >

第1種住居地域の5.7haに対して、住宅ゾーンを3.1haと1.6haに区分けされているが、残り1ヘクタール分は、JR敷地に係る分と見たらよいのか。

< 都市計画課長 >

そのとおりである。

10:32

(2)「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクトについて

[都市計画課長より資料に基づき説明]

10:37

[質疑]

< 藤本委員 >

スタジアムを中心とした一つのモデル地域をつくり、それを市全体のスポットにつなげていくような考え方はあるか。

< まちづくり推進部事業担当部長 >

本計画は、特にスタジアムを核として位置付けるような考え方ではなく、市全体をガーデンミュージアムとしてまちづくりを進めていきたいという考え方であり、駅北地区もその一つのスポットとして取り組みたいと考えている。特にメインの78m道路にはふんだんに取り入れて、1号・2号公園については、牛松山を背景としてガーデンミュージアムのイメージを持たせたいと考えているが、それが本計画の核というものではなく、市全体の中で取り組みを進めていくというものである。まずは、市庁舎前の空き地を借りて植栽等を考えており、また、縦貫道のインター下周辺の整備等、適地を調査しながら進めていきたいと考えている。

< 明田委員 >

福井県立大学と連携するに至った経緯は。

< まちづくり推進部事業担当部長 >

学長の進士五十八氏は造園家として活躍されている方であり、市長との交流等がある中で、指導、助言をいただけることとなった経過がある。

< 明田委員 >

資料中、「市民協働による取組」に係り、将来的な維持を踏まえての具体的な考えは。

< まちづくり推進部事業担当部長 >

これまでの実績として、ニチコン前における企業・住民等による取り組みやJR並河駅前における事例等の素地があるので、それらの取り組みを今後もどんどん広げていきたいと考えている。

< 明田委員 >

そのような取組みに関して、各種の団体等とも協力して進めてもらいたい。

< 並河委員 >

観光振興として、スポットを巡回するバス交通の考えは。

< まちづくり推進部事業担当部長 >

これに特化したバス交通については、現在のところ考えていない。市公共交通計画に沿ったかたちでバス交通整備を進めている。

< 並河委員 >

将来的には観光客誘致として必要ではないかと考える。ぜひ検討願いたい。

< 藤本委員 >

全体的に散漫な感じがする。やはりスタジアムを中心としたガーデンミュージアム構想を策定し、そこを拠点として各スポットと連動させることにより、スタジアム誘客を図るような考え方をもって検討願いたい。所見は。

< まちづくり推進部事業担当部長 >

市の方向性としてスタジアムを核としたまちづくりの取り組みを進めている。ガーデンミュージアム構想も含め、駅北には新たな景観を創造し、亀岡の新たな顔として、市内の観光振興にもつながる取り組みを進めていきたい。

< 西口委員 >

説明では、亀岡市全体を対象としたミュージアム構想であり、全体を見た中でスタジアムを一つのスポットとして受け止めている。スタジアムのために取り組むものではない。

構想の策定期間はいつ頃を見込んでいるのか。

< 都市計画課長 >

現時点では、29年度上半期を目途として策定していきたいと考えている。

< 藤本委員 >

全体の構想としては理解している。スタジアムを中心としたまちづくりを柱としていることから、意見を述べているのである。

< 奥村委員長 >

意見として受け止めておく。

本計画については、今後も委員会で積極的に議論していきたい。よろしく願いたい。

10 : 50

[まちづくり推進部退室]

[土木建築部入室]

[土木建築部長あいさつ]

(3) 準市道に係る補助施策について

[土木管理課長より資料に基づき説明]

11 : 00

[質疑]

< 木曾委員 >

前向きな施策と考えるが、対象地域として、東西別院・西部4町の周辺部を説明されたが、例えば篠町にも西山団地等があり、それらは今後、市との協議により対象の中に入っていくのか。

< 土木管理課長 >

都市計画区域外とは、東西別院・西部4町を指すが、篠町や蕨田野町等にも市街化調整区域内に造成された団地がある中、基本的にはそれらの団地も対象の範囲として、具体的には地元と協議していきたいと考えている。

11:02

[土木建築部退室]

[休憩]

[産業観光部入室]

11:05

[産業観光部長あいさつ]

(3) 森の京都DMOについて

[観光戦略課長より資料に基づき説明]

11:20

[質疑]

< 木曾委員 >

本市において森の京都との関連付けは中々難しいと考えるが、西別院町のユメミファクトリーをPRすることも参考になるのではないかと。ユメミファクトリーとの連携は考えているか。

< 観光戦略課長 >

ユメミファクトリーのイギリス村では主に大阪方面から多くの集客があり、魅力ある観光地の一つである。そうしたところも含めて事業展開を進めていきたいと考えている。特にトロッコ列車の来客は120万人ある中で、市内、森の京都エリアで滞留していただく取り組みを実施していくので、その中の素材の一つとして含まれている。

< 木曾委員 >

例えば長尾山や雲海テラス等も可能性として期待される。森林組合との連携による事業展開の考えは。

< 産業観光部長 >

豊かな森林資源をいかに活用していくかが大変重要であり、DMOに限らず、市の観光振興においてもしっかりと連携し、ともに考えていきたい。

< 藤本委員 >

るるぶ等を踏まえて、情報発信の面で考えていることは。

< 観光戦略課長 >

DMOの事務局には、旅行会社社員の派遣があり、京都府において人選されているが、その中で事業展開を図ることとしている。特にランドオペレーターとして、素材と素材をつないでいくことや旅行会社と対等に取り組んでいく専門職員が必要とされており、DMOの中からより発信力の高いツールを探して情報発信していく予定と聞いている。その中で本市の意向も十分に伝えていきたい。

< 明田委員 >

他市町における負担金の割合は。

< 観光戦略課長 >

1億円の事業費のうち、京都府が2分の1を負担し、残りを5市町で負担すること

となっている。5市町については、人口割や観光入込客・観光消費額割があり、過去3年間の実績を踏まえて負担金を分配することで調整している。

< 奥村委員長 >

他市町の負担金を質疑されているが、そのデータはあるか。

< 観光戦略課長 >

後刻報告する。(了)

11:30

[産業観光部退室]

3 その他

< 奥村委員長 >

今回は、3月定例会の議案審査が予定されている。事務局より連絡事項はないか。

< 事務局主任 >

一般質問が3日間で決定されたため、今回の議案審査の日時は3月10日の午前10時からとなり、追加提案予定の補正予算の審査を予定している。

また、13日には当初提案の企業会計、特別会計及び条例等議案の審査を予定している。なお、この日程中に、来年度の行政視察の実施についても協議いただく予定としている。例年どおり5月に行政視察を実施する場合には、3月定例会中に日程、視察先を決定できるよう、その取扱いに関して確認願いたい。

< 奥村委員長 >

以上のとおり、議案審査についてよろしく願いたい。

行政視察に関しては、例年どおり5月に実施することとしたい。日程に関しては、私の方から各委員に調整していくので、よろしく願います。

< 木曾委員 >

視察先については過去に視察したところと重ならないよう実績を確認して検討した方がよいのではないか。

< 奥村委員長 >

その点も考慮しながら検討していきたい。事務局と調整しながら検討資料を準備していきたい。(了)

散会 ~ 11:34